

うるま市勝連・与那城地域まちづくり推進計画素案に関するパブリックコメントで寄せられたご意見と回答
 ~ご意見ありがとうございます~

- 受付期間 : 令和5年1月26日(木)~令和5年2月27日(月)
- 受付人数 : 5人
- 意見数 : 23

No.	ページ	項目	ご意見	回答
1	24	第3章 うるま市及び勝連・与那城地域の現状と課題 2. 既存計画における位置づけ	意見：既存計画として「うるま市景観計画（29.6月改定）」を追加記述してください。また、本計画に基づく景観地区指定済み箇所（南風原地区、浜比嘉地区）についても記述してください。 理由：景観法に基づく「うるま市景観計画」は、多彩で美しいうるまの景観を保全・創出し、将来の世代にわたり「住んでよし、訪れてよし」の美しい景観づくりに取り組むことを目的に定めたものです。この「うるま市景観計画」の推進により郷土に対する誇りと愛着を育て、ひいては地域の持続的発展にも繋げていく大変重要な上位計画であり、是非とも・既存計画として入れこむべきと考えます。	本計画は「公民連携による経済活性化」に主眼を置いて策定するものであり、既存計画については特に関連するものを抽出して位置づける方針としているため、原案のとおりとさせていただきます。ご了承ください。 一方で、景観計画等に基づく規制はプロジェクトの推進と密接に関連することから、景観地区に指定された地区に関連するプロジェクトである「第4章 4. プロジェクト1 勝連城跡周辺の魅力向上」及び「第4章 4. プロジェクト6 島しょの資源を活用した地域振興」の「③関連する主な既存計画・調査等」に、「うるま市景観計画」を追加します。
2	38, 50	第3章 うるま市及び勝連・与那城地域の現状と課題 2. 既存計画における位置づけ (6)うるま市総合交通戦略（令和2年3月） 4. 分析結果の整理 (1)勝連・与那城地域の特長・強み ③個性豊かな島しょの存在	・目標③ 基本方針Ⅵについて 宮城島内の生活道路の改善希望。全面舗装して頂きたい。傷んでいる所だけ直す方法は見た目にも良くない。またそこから傷み、道がぼこぼこする。 最近では島内も観光客が増えてきているので、みっともない。	ご意見として承ります。
3	41, 43	第3章 うるま市及び勝連・与那城地域の現状と課題 2. 既存計画における位置づけ (7)うるま市自転車ネットワーク計画（東部地区）（平成30年8月）	すでに自転車は来ている（島しょ地域）。浜比嘉島は自転車用の道路標示があるのに、他島にはなく、一車線道路ゆえ、危険である。早めに自転車用道路を作るなりしてほしい。	「うるま市自転車ネットワーク計画（本市ホームページにて公表）」では、自転車ネットワーク対象路線の整備形態を、各路線の規制速度や交通量等に応じて「自転車道タイプ」「自転車専用通行帯タイプ」「車道混在型」に分類しています。同計画に基づき、引き続き自転車ネットワークの構築に取り組みます。

No.	ページ	項目	ご意見	回答
4	44	第3章 うるま市及び勝連・与那城地域の現状と課題 3. 勝連・与那城地域に対する関係者の認識 (1) 住民	・アンケートの調査方法について 無作為抽出は良いことだと思うが、有効回収率が低すぎると思う。回収率が上がるようなアンケート方法はないのか。各自治会関係者にも別枠でアンケート調査をしてみてもいかがか。(地域の困りごとや地域の現状等を把握しているのは自治会なので。)	今後の各プロジェクトの推進にあたっては、地域の皆様のご意見の把握と反映に努めます。
5	65	第4章 勝連・与那城地域の目指す姿 4. まちづくり推進に向けたプロジェクト プロジェクト3 与那城庁舎周辺及び県道37号線沿道の利活用推進～(仮称)あやはしスポーツビレッジ～	・与那城庁舎周辺及び県道37号線道の利活用推進について 県道37号線の路面の全面舗装希望。道が悪すぎて観光客などとても受け入れられる環境ではないと思う。また、道路沿いの樹木の剪定希望。せつかくの海岸線なのに汚く見える。	第4章 4. プロジェクト3や第5章 2. (3)において、いただいたご意見と同様の趣旨の方針を記載しています。
6	70, 71	第4章 勝連・与那城地域の目指す姿 4. まちづくり推進に向けたプロジェクト プロジェクト4 勝連地域における既存ストックの利活用推進	・勝連B&G海洋センターの跡地利用、民間事業者主導での利活用について バッティングセンターを作ってはどうか。与勝地域は学童軟式野球から、中学・高校の野球人口が大勢いるので是非ご検討頂きたい。与勝からプロ野球選手を育成する為にも是非取り組んで欲しい。	ご意見として承ります。
7	76	第4章 勝連・与那城地域の目指す姿 4. まちづくり推進に向けたプロジェクト プロジェクト6 島しよの資源を活用した地域振興 ① 背景及び課題	意見：6行目に次の下線部を追加記述してください。 となっています。特に、平成29年に景観地区に指定された浜比嘉島は、豊かな地域資源を守り育てることで島の魅力を高め、地域活性化に繋げていく必要があります。 理由：浜比嘉景観地区の指定移行、赤瓦屋根や石垣整備などへの助成はあるが、集落内外に残るカーや御嶽などの公共的な歴史文化資源の保全整備が進まないため、地域全体としての島の魅力を高めることが出来ず、地域の観光振興に繋がっていないため。地域住民からは、“景観地区指定は建築制限が強いだけで地域発展へのメリットはない”との声も聞こえます。地域の歴史文化資源の保全整備は地域と共に持続的に取り組んでいくべきものであり、景観地区指定後の早い段階から少しずつ整備を進めていくことが重要と考えます。是非とも、浜比嘉島の歴史文化資源の保全整備事業を早い段階から実施されんことを要望します。	ご意見を参考に、下記下線部のとおり計画に反映します。 (3行目)・・・津堅島があります。豊かな地域資源を守り育てることで島の魅力を高めるため景観地区に指定されている浜比嘉島をはじめ、それぞれの島には歴史、・・・

No.	ページ	項目	ご意見	回答
8	77	第4章 勝連・与那城地域の目指す姿 4. まちづくり推進に向けたプロジェクト プロジェクト6 島しょの資源を活用した地域振興 ④プロジェクトの方向性	・島しょ地域の交通インフラや生活環境について 本島内は、無料循環バスが通っているが、島しょ地域の住民は有料バスにて本島に出て、無料バスの利用をしている。しかも乗り継ぎのタイミングが悪く、待ち時間が長いとの声も聞こえる。島しょ地域に特化した交通インフラの誘致をご検討頂きたい。タクシーチケット等の取り組みもしているようだが（役所が）使い勝手が悪い。	住民アンケートにおいて公共交通サービスの利便性向上に関するご意見が多いこと等を踏まえ、55ページ（第3章 3. (3)）で公共交通の充実に取り組む方針を記載しています。 なお、交通に関する具体的な施策は「うるま市総合交通戦略（本市ホームページにて公表）」等の関連計画に基づき推進します。
9	77	第4章 勝連・与那城地域の目指す姿 4. まちづくり推進に向けたプロジェクト プロジェクト6 島しょの資源を活用した地域振興 ⑤公民連携の方針	意見：21行目に次の文を追加記述してください。 また、県道10号線（伊計平良川線）の整備が宮城島上原土地改良区で進展していることから、隣接する「（仮称）シヌグ堂広場」の整備について、急ぎ、調査設計に入り県と調整を進めていきます。 理由：県道10号線（伊計平良川線）の用地買収が既の上原土地改良区でスタートしていますが、「（仮称）シヌグ堂広場」計画は構想の段階に留まっています。しかし、広場の駐車場などは隣接する県道と連携して整備を進める必要があるため、「（仮称）シヌグ堂広場」の調査設計を急ぎ行い県と調整を進めていくことが重要と考えます。	本計画は「公民連携による経済活性化」に主眼を置いて策定するものであり、第4章 4. の各プロジェクトにおける「⑤公民連携の方針」や「⑥想定スケジュール」については、特に民間事業者との連携が想定される取組に絞って記載する方針としています。そのため、原案のとおりとさせていただきます。ご了承ください。
10	77	第4章 勝連・与那城地域の目指す姿 4. まちづくり推進に向けたプロジェクト プロジェクト6 島しょの資源を活用した地域振興 ⑤公民連携の方針	・島しょ地域の空き家について 空き家の主との調整は自治会や地域の人にも頼んで進めた方が良いと思う。役所だけでは主とのやり取りは難しいと思う。（信頼関係の問題などで。）	ご指摘のとおり、利活用に向けては所有者や自治会・地域住民の方々の理解と協力が必要と考えています。
11	77	第4章 勝連・与那城地域の目指す姿 4. まちづくり推進に向けたプロジェクト プロジェクト6 島しょの資源を活用した地域振興 ⑤公民連携の方針	古民家の空き家情報の把握は、移住希望者のためではないのか？民間事業者への情報提供となると、より自治会との十分な話し合いが必要。	いただいたご意見のとおり、現在は移住定住の促進を目的に空き家活用の取組を進めています。 本計画の記載は、今後、民間事業者による利活用を目的とした空き家等の古民家の活用に向けた取組を検討するという方向性を示したものです。具体的な取組の推進にあたっては、ご指摘のとおり自治会をはじめとした関係者の皆様の理解と協力をいただくことが必要と考えています。

No.	ページ	項目	ご意見	回答
12	77	第4章 勝連・与那城地域の目指す姿 4.まちづくり推進に向けたプロジェクト プロジェクト6 島しょの資源を活用した地域振興 ⑥想定スケジュール	意見：24行目の⑥想定スケジュール表に、上記の浜比嘉島の歴史文化資源の保全整備事業を想定スケジュールに入れ込んでください。	No. 9をご確認ください。
13	77	第4章 勝連・与那城地域の目指す姿 4.まちづくり推進に向けたプロジェクト プロジェクト6 島しょの資源を活用した地域振興 ⑥想定スケジュール	意見：24行目の⑥想定スケジュール表に、上記の「(仮称)シヌグ堂広場」の調査計画について入れ込んでください。	No. 9をご確認ください。
14	78	第4章 勝連・与那城地域の目指す姿 4.まちづくり推進に向けたプロジェクト プロジェクト7 広域からの誘客及び回遊性向上	勝連南道路について記載がない。 現在、県で検討中であるかと思うが、本道路はまちづくりに寄与する道路と考える。 将来的には本道路も活用した、まちづくりも一般的に考えられる事から、記載する必要があると考える。 是非、本市の意気込みと、前向きな姿勢を本計画に入れて欲しい。 また、自転車ネットワークとしても、勝連南道路は観光周遊の観点から、よいフックになると考えられる。是非検討していただきたい。	ご意見をいただいた内容は、「(仮称)勝連半島南側道路」として、55ページ(第4章 3. (3))で触れています。
15	-全般		まちづくりとして賑わいの創出という観点からすごく良いことではある。 しかしながら、近年本市は人口が増加傾向であることから、人口変動に対する本市の考え方を整理する必要があると考えます。 まちづくりをする事により、人口も増え、人流も必然的に増加します。 そのような場合、交通も切り離してはならない課題だと一般的に考えられます。 交通に関しては、どのような見解でしょうか。	13～16ページ(第3章 1. (1))にお示しているとおり、本市の人口は増加傾向である一方、勝連・与那城地域の人口は減少しており、高齢化も進行しています。勝連・与那城地域の将来にわたる発展に向けては、特色ある地域資源を生かして来訪者の滞在や消費を促進し、地域の経済活性化や雇用創出、ひいては観光地としてだけでなく働く場所や生活する場所としての魅力向上につなげていくことが重要と考えています。 交通に関しては、55ページ(第4章 3. (3))等で公共交通の充実に触れているように、まちづくりと密接に関連するものと認識しています。 なお、交通に関する具体的な施策は「うるま市総合交通戦略(本市ホームページにて公表)」等の関連計画に基づき推進します。
16	-全般		ポテンシャルの高い本市にたいして、将来を見据えたブランディングを是非とも検討していただきたい。	ご意見として承ります。

No.	ページ	項目	ご意見	回答
17	-	全般	・ 照間の道路整備。（アスファルト）、景観の整備。（木の剪定、海が見えない）	No. 5をご確認ください。
18	-	全般	・ 説明会への呼びかけ、広報不足。	1月の住民説明会は、市ホームページへの掲載のほか、対象地域内の各自治会へ周知依頼を行いました。 今後の各プロジェクトの推進にあたっては、地域の皆様のご意見の把握と反映に努めます。
19	-	全般	・ 地域資源を生かした整備、市の事業としての位置づけ。（ウフバンタ整備、地域散策ガイド養成等）	本計画は「公民連携による経済活性化」に主眼を置いて策定するものであり、地域内の主要な取組についてプロジェクトとして取りまとめています。 個別事業やソフト的な取組については、各分野の個別計画において検討していきます。
20	-	全般	・ 東海岸の開発。公園整備（多目的公園等）	No. 19をご確認ください。
21	-	全般	・ 人口減少の解消（団地建設、集落内の空地の活用）	No. 19をご確認ください。 なお、人口減少の解消は地域の主要な課題と認識しており、本計画に基づくまちづくりの推進は、課題解決に寄与するものと考えます。
22	-	全般	・ 行政が主体となつての空き家対策への取組。	No. 19をご確認ください。 なお、第4章 4. プロジェクト6「島しょの資源を活用した地域振興」において、空き家等の古民家活用の取組を位置づけています。
23	-	全般	・ 高齢化への対応。診療所の建設。	No. 19をご確認ください。